の票、三井にせまる

―統一地方選挙を勝利、CO闘争の前進をかちとろう―

福岡県知事候補
う崎多一

福岡県議候補
浦川守

熊本県議候補
酒井善為

大牟田市長候補
川口六平

大牟田市議候補
蓮尾信治郎

大牟田市議候補
湯村誠男

大牟田市議候補
田中貞夫

大牟田市議候補
月足康則

大牟田市議候補
広瀬勝鮮

荒尾市議候補
浦浜真光

荒尾市議候補
益田武則

荒尾市議候補
小森隆一

荒尾市議候補
坂本敏夫

荒尾市議候補
福川次郎

高田町議候補
坂口芳澄

全候補者の当選をかちとろう！

訴えようCOの実態
示そう団結の力

三月二十一日告示された知事選挙を皮切りに三十一日には県議選が告示され、統一地方選挙はいよいよ開始された。あとにつづく市長、市議選も含めて、これらの選挙闘争がCO患者の完全補償を要求し、三井の責任を追及する闘いに重大な関心をもつものだけに、全組合員・家族の総決起がのぞまれる。

両選対も発足

三月三十一日の告示とともに、熊本県議の酒井候補と福岡県議の浦川候補の出陣式がそれぞれ行われた。

酒井候補は、同日午前九時から荒尾駅前に荒地評傘下の組合員約二百名を集め出陣式を行った。

酒井候補は「われわれをとりまく情勢はたしかにきびしいが、この選挙戦をつうじて平和と民主主義を最後まで訴え、熊本県政の反動ぶりをバクロしていく」と決意をのべた。

一方、浦川候補は同日午前十時から大牟田市労仂会館に、大地評傘下の各組合員、大店会、農漁民代表、主婦会代表など約五百名をあつめて出陣大会をひらき、各界代表者による決意表明がおこなわれた。浦川候補は「過去四回の選挙戦のうちこんどが一番きびしく心がひきしまる思いです。う崎知事の当選を皆さんとともに闘いとる中で私の勝利をかちとりたい」と力強く語った。

（上）出陣大会でタスキと花をつける浦川さん　（下）決意をのべる酒井さん

〝労仂組合はナマケ者〟
自民党県政のねらうもの

三月二十一日に告示された知事選挙は、四月十五日の投票を目指して革新県政擁護のためにはげしい闘いがくりひろげられている。

三月二十八日に大牟田市民会館で行なわれた立会演説会で、革新県政打倒を目指す保守系候補者は「労仂組合はナマケ者の集まり」と悪口のかぎりを尽した。

自民党が保守系候補を通じてねらう労仂者圧殺の陰謀をさぐってみた。

三池闘争弾圧の立役者

自民党、民社党が積極的にすいせんしている保守系候補者は、昭和三十五年七月労仂次官に就任すると直ちに当時の石田労仂大臣とともに中労委を利用し、千二百名クビ切りのあっせん案を出させた張本人である。

同候補は三月二十八日の立会演説会で「なんでも闘いすぎると反動が出てくる。三池でも三池闘争で労仂組合があまり過激にやりすぎたので、反動として新労組ができて、それが増えているのは喜こばしい」と、明らかに三井鉱山の肩を持っている。

CO患者マツ殺にも関係

また、この候補者は昭和三十七年以来、参議院議員として石炭対策特別委員や社会労仂委員としてあった。

われわれは昭和三十七年、組織の全力をあげて石炭政策反対闘争を闘い抜いたが、有沢調査団を口実に炭鉱労仂者のドレイ化政策を推進した人物でもあった。

とくに、自民党の石炭政策は昭和三十八年の三川鉱大爆発をひきおこし、さらにその後には北炭夕張、伊王島、山野で合計三百三十名の炭鉱労仂者を殺したが、さらにこの政策は昨年十月には自らの合理化の犠牲者であるCO中毒患者を坑内に追い込む「労災補償打ち切り」を強行させている。

四百人の先生をクビに

また自民党は福岡県には四百人の先生が余っているので整理すべきだといっている。

自民党が「労仂組合にふり回されるな」ということは「自由に労仂者のクビを切れ」ということになる。

福岡県は高校の授業料が現在月六百五十円だが、文部省はこれを八百五十円に上げろといっている。

そして二百円少なくとっている罰として、国が県にやるべき金を二億八千万円もさし引いている。

「中央に直結する政治」の中味はこんなものだ。

▼去る日、水平坑道（宮浦鉱の）を進行中の人車に、疾走してきた空人車が衝突するという事故がありました。

これは、その日の朝の話である。

A氏　Sさん、今朝坑内で人車事故があったそうですね。

S係員　ホー、そらア知らんばい。突したもんで、三人のケガ、人のあったげなばん。

S係員　そらア、人車の修繕がおうごつたい。

人間の生命の心配より先に、人車の修繕を考えるとは、さすがに三池の転制だ、とホトホト感心させられたものである。さてその翌朝顔をあわせると、開口一番いった――

人の生命より
人車が大切？

CO中毒のつぎは
水俣病の恐怖

水銀を発見

悪水川として有明な大牟田川に水銀が発見されたという三月二十九日の新聞発表は、三井の〝公害〟に悩まされつづけた大牟田市民に大きな怒りをまきおこした。

発表によると、大牟田川には金すでに多量にたまっている。

CO中毒の何十倍も恐い

九大・山口教授の話（三月二十九日・毎日新聞）では「無機水銀でも多量に人体に蓄積されれば神経系統の障害をおこし、指がふるえられなくなる」という。

水の中に含まれる無機水銀が魚の体内にたまり有機水銀となり、それをたべた人間の中枢神経を狂わせる病気であった。

この病気に対して新日窒資本は「先天性梅毒やライ病がわざとしている」と宣伝し、最後まで責任をとろうとしなかった。

私の書棚

あふれる人間の美しさ

西北地方物語　ベトナム小説集

フランス占領下の西北地方での抵抗闘争時代から解放戦争前後の時代を背景とした「西北地方物語」は闘いの中で変革されていった人間の心を、愛を詩情豊かな文章でうたいあげた物語である。

八十年以上にわたるフランスと日本ファシストの侵略下にあって独立・自由を闘ったベトナム人民の闘いは、さまざまな、豊かで美しい文化を生み出し、育っていったことがこの物語からもうかがえる。それは、闘う者のみが持つことのできる特権であり、誇りである。

資本主義社会の中で常にゆがめられ、ついには人間の心すらも信じられなくなろうとするとき、この物語の真剣に生きている人間の姿は、輝くような美しさで私にせまり、それははげしいものでなく心の奥深くをゆり動かすような感動に満された。日本でもマス・コミの潮流にのった小説が数多く発表されているが、人間の真実の姿、仂く者の中にある何ものにもゆがめられない人間像をえがいたものは少い。その中にあってこの小説集は、読む者の心をとらえてはなさない。そしてこのような文化活動の基盤が闘っている三池の中にこそあり、大きく花開くことに確信をもつことができた。

『西北地方物語』
―世界革命文学選―
新日本出版社・二二〇円
（三川・まえだゆきえ）

心でないた三池での交流

前略、先日直接患者さんとも話をして、CO問題の根の深さを知り〝これは三池だけの闘いではなく、全国の仲間の闘いだ。この問題を、いや三池の火を職場に、そして地域へと広めることが私たちの任務だ〟と思いました。

最後に患者の人たち、家族の人たちと「ガンバロー」をうたったとき、再び涙がこみあげ、心の中で〝闘うのだ、闘うのだ〟と叫んでいました。

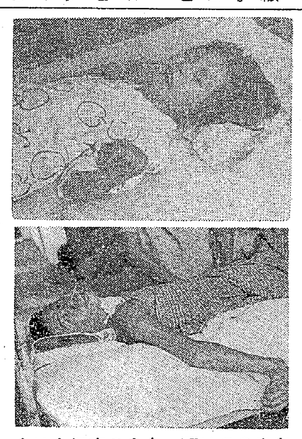
私たちは、三池にまなんだことは数えきれないほどあります。これらのことを基礎に、今後は闘っていきます。そしてCO問題を職場で、地域で、人々によびかけます。

今月の十日に、三池報告会があります。また千葉の社青同の集会にも参加して、このCO問題を話すことがきまっています。

これだけのことでは、まだまだ三池の闘いに応えることにはなりませんが、特別立法制定、春闘勝利、統一地方選挙勝利、いや全国のどこかで赤旗があるかぎり、私たちは闘いつづけることを決心しております。

今後とも、よろしくご指導おねがいします。

三月五日



上は水俣病の少女、下はCO患者

CO中毒症に対する「組合原性病」という三井の宣伝とまったく同じである。

三井や新聞はさっそく「人体に影響はない」と宣伝をはじめた。CO中毒で労仂者を殺し、排水でもまた身体をむしばむ三井の責任を選挙の中でも追及しよう。